

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

道南技術士委員会メンバーと共に、新たなチャレンジをしてきました。

「技術士を知ろう！ in 函館高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2023 年度の活動第 3 弾は、昨年に引き続き、函館工業高等専門学校社会基盤工学科の 3 年生を対象に実施しました。今年も青年技術士交流委員会(青技交)、道南技術士委員会の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：2023.8.4(金) 14:45～16:15

講義内容：技術士資格の説明、概要等

技術士の仕事内容と役割(講演 2 編)

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 3 年生 27 名

参加者：小澤代表、仁田、中谷、千葉(記)(ミライ研 4 名)。原田、仁義、正田(青技交 3 名)。原、村本(道南技術士委員会 2 名)。櫻庭(一般協力)

実施概要のうち、「技術士の仕事内容と役割」と「質疑応答」に関しては、本号に掲載されている「道南技術士委員会」のレポートを参照願います。

3. 新たな試み

函館高専での「技術士を知ろう！」ですが、昨年まで担当だった澤村先生が退官され、今年から金先生と新たなタッグを組んで取り組みました。

金先生からのリクエストは、公務員・建設会社・コンサルに所属する技術士からの講演と、同校 OG でもある櫻庭技術士の講演を組み合わせたいと言う内容でした。

同校 OB で公務員である原技術士とコンサル系

で OG の櫻庭技術士は比較的早く調整が付いたのですが、建設会社の技術士探しはかなり難儀しました。

そんなとき仁田副代表が閃きます。今年の 6 月に札幌から東京に転勤となった清水建設の仁義技術士に声を掛けてはどうかという話になり、オファーを出したところ、二つ返事で快諾です。

結果的にメインの講演者が 20～30 代の技術士のみという、最もヤングな講演会となりました。笑

4. 技術士について

講演会の冒頭は毎度の小澤代表です。一人 50 代という圧倒的な貫禄を見せつけながら、技術士資格の説明を行いました。技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

同校 OB かつ同僚だった三吉技術士が転職し、少し落ち込み気味だった代表ですが、来年は一緒に参加出来るという噂を聞いて喜んでいました。

5. 感想・アンケート結果

講演終了後に行った学生からの感想には、「発注者や、ゼネコン、コンサルどこにいても技術士が必要とされることがよくわかった」、「技術士の取得は、メリットややりがいを感じることができると知れた」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、25 人中 22 人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、25 人中 21 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。

来年度も新たなチャレンジをしたいと思います。